



# 第134号

編集と発行  
中部農業改良普及センター

〒904-2155 沖縄県沖縄市美原1丁目6番34号  
(沖縄県中部合同庁舎2階)  
電話 098-894-6521  
F A X 098-937-2502

## ごあいさつ

このたび、中部農業改良普及センター所長として配属となりました島袋律子と申します。中部地区の農業振興に向け、職員一同、全力を挙げて取り組みますのでよろしくお願い致します。

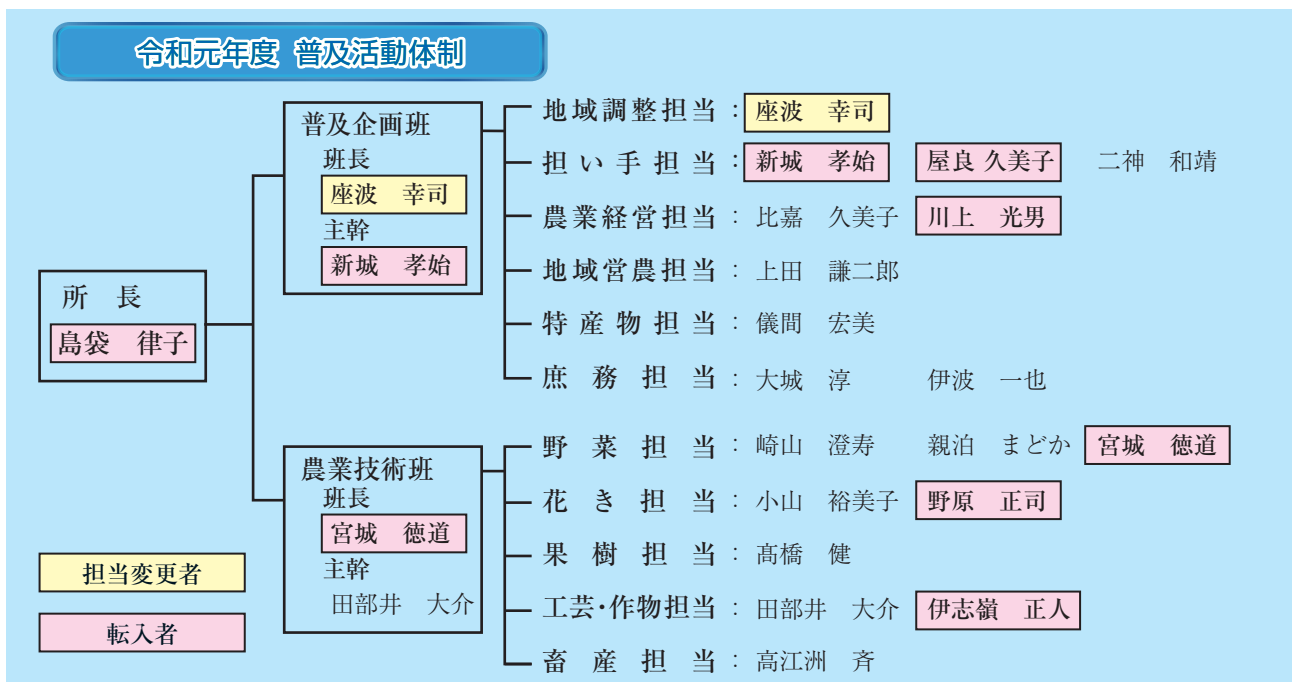
中部管内は沖縄県内で最も人口の集中する地域で、農業においては都市型農業地域が混在し、比較的小規模な経営体が多い地域です。さとうきびをはじめ、様々な品目がある中、野菜、花き、果樹、かんしょ、薬用作物、肉用牛の分野であわせて16の拠点産地があり、消費者や市場から信頼されうる産地として、高付加価値型農業の振興をめざし、組織的、戦略的な農業を展開している地域でもあります。

当普及センターでは「沖縄21世紀農林水産業振興計画」や「沖縄県協同農業普及事業実施方針」に基づき、新規就農者の定着支援や認定農業者等の担い手の育成、拠点産地の育成等を図るため、地域の現状や農業者の意向を踏まえた普及指導計画を策定し、①「安定的な農業の担い手育成」、②「おきなわブランドの確立に向けた産地育成」、③「環境と調和した農業生産」、④「地域資源活用による農村振興」の4課題を重点的に取り組んで参ります。

新元号・令和の時代が到来し、A I、I C T等の技術を活用した「スマート農業」の本格的な取り組みもいよいよ目になってきました。農業者、市町村、関係団体の皆様におかれましては、より一層のご協力・連携をお願いいたします。



(所長 島袋律子)



# 就農支援講座(基礎コース・専門コース)受講生募集!!

今年度も開催します!新規就農者の方は是非受講して下さい♪

申込み期間: 令和元年 5月7日(火)~5月31日(金)・受講料無料

## 受講 申込 方法

- 講座受講申込み用紙: 市町村農林水産課窓口、普及センターで入手して下さい。  
※電子データ希望者は「申込書送付希望」と明記し、下記までメール送信して下さい。  
(担当) 新城 (e-mail) arshiro@pref.okinawa.lg.jp
- ※ 土壌分析希望者は、採取方法に従い提出して下さい。
- 提出先: 住所のある市町村農林水産課窓口、中部農業改良普及センターまで

## 主催: 中部地区農でグジョブ推進会議

(問合せ) 中部農業改良普及センター (tel) 098-894-6521 (担当) 新城、二神、屋良

### 令和元年度 就農支援講座・基礎コース

	開催日	曜日	時間	講座内容	講師	場所
1	6月6日	木	13:30~13:50 13:50~15:30	開講式・オリエンテーション 土壌分析と土づくりについて	琉球肥料株式会社	普及センター
2	6月20日	木	13:30~15:00	病害虫防除と農薬使用の基礎知識	普及指導員	普及センター
3	7月4日	木	13:30~15:00	農業経営と税務について、農業者年金活用法について	J A おきなわ	普及センター
4	7月11日	木	13:30~15:00	土壌分析結果に基づいた施肥設計について	琉球肥料株式会社	普及センター
5	7月18日	木	13:30~14:10 14:15~15:00	ちゃんぶる~市場からみた栽培品目のポイント ファーマーズ出荷農家経営事例紹介	ちゃんぶる~市場店長 指導農業士等	農民研修センター
6	8月1日	木	13:30~14:20 14:30~15:00	農地の確保方法について 新規就農者への支援制度	沖縄県農業振興公社 普及指導員	普及センター
7	8月22日	木	13:30~16:00	農業機械の安全な使い方	中部地区機械士会	読谷村(予定)
8	8月29日	木	13:30~14:20 14:30~14:50 14:50~15:00	6次産業化による所得向上について 農業組織の紹介 閉講式	普及指導員 農業青年クラブ等	普及センター
9	1月中旬	-	13:30~17:15	新規就農者等圃場視察研修	指導農業士、普及指導員	中部管内
10	1月中旬	-	18:00~20:00	意見交換会(希望者のみ)	農業士・農業青年クラブ員等	市内

### 令和元年度 就農支援講座・専門コース

	開催日	曜日	時間	講座内容	講師	場所
11	6月14日	金	14:00~16:30	緑肥、雑草について(土壌保全の日)	普及指導員	北中城村
12	6月18日	火	13:30~15:00	ゴーヤー栽培について	普及指導員	普及センター
13	6月25日	火	13:30~15:30	マンゴー栽培について	普及指導員	普及センター
14	7月9日	火	13:30~15:00	オクラ栽培について	普及指導員	普及センター
15	7月16日	火	13:30~15:00	さとうきび栽培について	普及指導員	普及センター
16	7月30日	火	13:30~15:00	さやいんげん栽培について	普及指導員	普及センター
17	8月6日	火	13:30~15:00	肉用牛繁殖技術について	普及指導員	普及センター
18	8月20日	火	13:30~15:00	草地管理技術について	普及指導員	普及センター
19	8月27日	火	13:30~15:00	かんしょ栽培について	普及指導員	普及センター
20	9月10日	火	19:00~20:30	キクのアザミウマ対策について	普及指導員	普及センター
21	9月17日	火	13:30~15:00	パッションフルーツ栽培について	普及指導員	普及センター
22	10月頃	火	13:30~15:00	感水紙使用による防除方法チェック(キク)	普及指導員	普及センター



平成30年度就農支援講座



ちゃんぶる~市場視察

(普及企画班 新城 孝始)

# 令和元年度の農業経営講座について

中部地区では令和元年度も、市町村担い手協議会と普及センターの共催による農業経営講座を開催します。申込み等詳細については、下記市町村担当までお気軽にお問い合わせ下さい。

## 令和元年度経営講座開催予定

- (1) 税の集中コース(軽減税率制度について) 7/25
- (2) PC 記帳演習コース 5月～2月
- (3) 発展コース (①贈与税・相続税 ②農業法人に関すること ③外国人就農受入について) 8月～11月



担 当	電話番号
沖縄市担い手育成総合支援協議会 (沖縄市農林水産課内)	098-939-1212 (内線 3232)
うるま市担い手育成総合支援協議会 (うるま市農政課内)	098-923-7607
読谷村担い手育成総合支援協議会 (読谷村農業推進課内)	098-982-9215
北中城村担い手育成総合支援協議会 (北中城村農林水産課内)	098-935-2233
中城村担い手育成総合支援協議会 (中城村産業振興課内)	098-895-2131
西原町担い手育成総合支援協議会 (西原町産業課内)	098-945-4540

(普及企画班 比嘉 久美子)

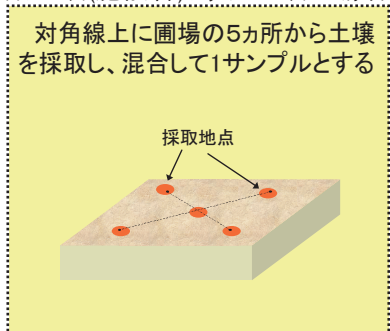
## 土壌分析は土の健康診断 ～診て安心・作って安全・土づくり～

当センターでは、JA おきなわ・市町村等と連携し、毎年6月上旬ごろに土壌分析を実施しています。あなたの畑の状態を知り、土づくりや施肥に活かしてみませんか？

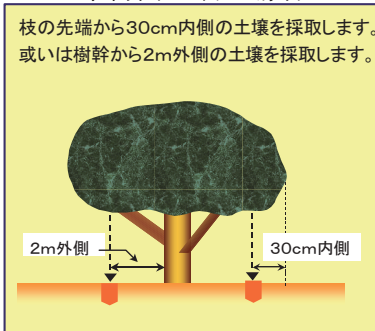
- **分析内容** (ZA-II (全農型土壌分析機器)による化学分析)
  - ・pH、EC、リン酸 (P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>)、石灰 (CaO)、苦土 (MgO)、加里 (K<sub>2</sub>O)、腐植
- **土壌サンプル・申込書の提出期限**
  - ・**5月31日(金) 16時** 提出先: 中部農業改良普及センター、J A各支店
  - \*土壌の提出は、1人当たり4サンプルまでです。

### ●土壌採取方法

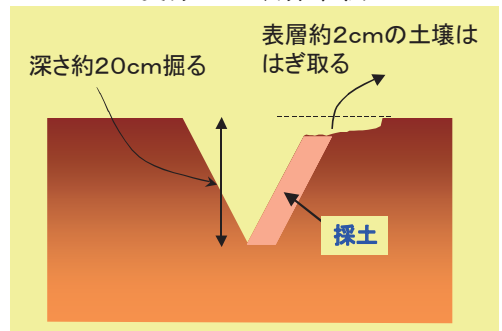
畑土壌(施設含)、水田土壌の場合



果樹園土壌の場合



実際の土壌採取法



・土壌サンプルは、畑に堆肥や肥料を入れる前に採取し、よく乾かして細かく砕き、サラサラの状態にしてから提出して下さい。(詳細は申込書参照)

### ●問合せ先

普及センター土壌担当(野原・親泊)、J Aおきなわ中部地区営農振興センター、市町村農業担当課  
(農業技術班 野原 正司)

### キク類の病気について

キク類の病気は季節や気温、降水量等によって発生の程度が変わります。表1は沖縄県那覇市の平均気温と病気の発生適温から病気が発生しやすい時期を色で示しています。特に赤色の時期は、病気が発生する可能性が高くなる傾向にありますので注意が必要です。

病名	病原体名		発病適温からみた発生期間(月)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
立枯病	<i>Rhizoctonia</i>	リゾクトニア(菌)												
立枯病	<i>Pythium</i>	ピシューム(菌)												
疫病	<i>Phytophthora</i>	フィトフトラ(菌)												
白絹病	<i>Sclerotium</i>	スクレロチウム(菌)												
炭疽病	<i>Colletotrichum</i>	コレトリカム(菌)												
褐斑病	<i>Septoria</i>	セプトリア(菌)												
黒斑病	<i>Septoria</i>	セプトリア(菌)												
灰色かび病	<i>Botrytis</i>	ボトリチス(菌)												
白さび病	<i>Puccinia</i>	ブクシニア(菌)												
菌核病	<i>Sclerotinia</i>	スクレロチニア(菌)												
半身萎凋病	<i>Verticillium</i>	バーティシリウム(菌)												
萎凋病	<i>Fusarium</i>	フザリウム(菌)	不明											
葉枯病	<i>Fusarium</i>	フザリウム(菌)	不明											
青枯病	<i>Ralstonia</i>	ラルストニア(細)												
斑点細菌病	<i>Pseudomonas</i>	シュードモナス(細)												
花腐細菌病	<i>Pseudomonas</i>	シュードモナス(細)												
軟腐病	<i>Erwinia</i>	エルウィニア(細)												
緑化症	<i>Phytoplasma</i>	ファイトプラズマ	不明(媒介虫の発生する時期)											
わい化病	<i>stunt viroid</i>	ウイロイド												

表1 沖縄の気象条件と病気の発生適温から見た発生時期

農薬には予防効果と治療効果を示す剤があるので、発生状況に応じて使い分け、効果的な農薬散布で病気発生リスク軽減と蔓延予防に努めることが重要です。同じ種類、系統を連続して散布すると、耐性菌が出る可能性が高くなり効きにくくなります！

また、キクに被害を及ぼす「クロゲハナアザミウマ」は、苗からの持ち込みが懸念されています。この時期、親株を管理する上で本畑に「持ち込まない」ために、親株の定植時でも粒剤を施用しましょう。健全苗の育成に向け、定期的な農薬散布と、ほ場内部・周辺雑草(寄生雑草:センダングサ、オニタビラコ、オオアレチノギク)の除草に努めましょう。



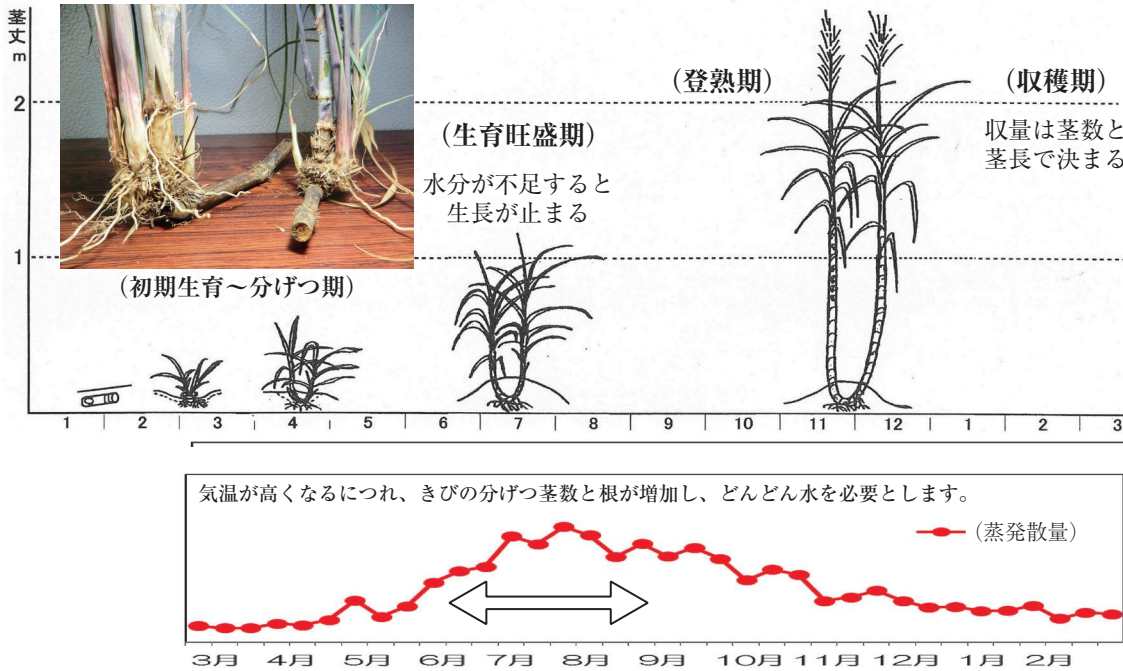
本畑で「増やさない」はもちろんのこと、親株管理の段階から、アザミウマ被害減を目指しましょう！

(農業技術班 小山 裕美子)

# さとうきびは6月からかん水すれば増産します!

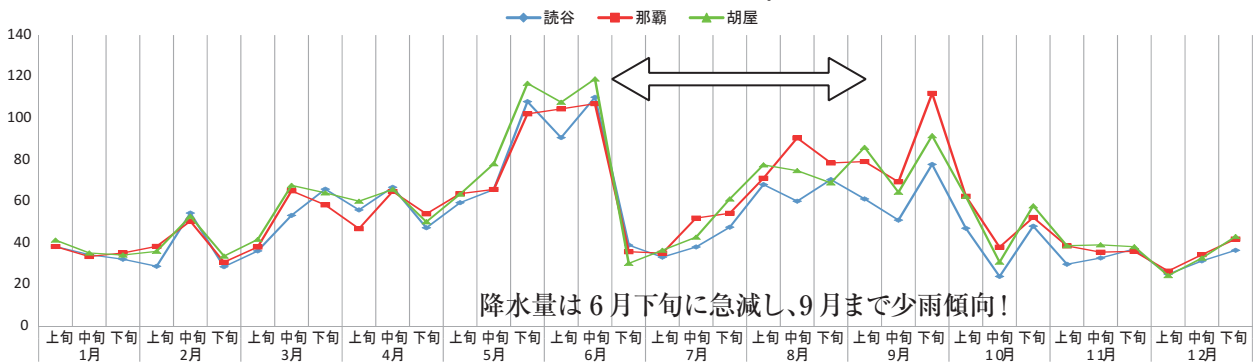
いよいよ令和元年のきび作りが始まりました。梅雨が始まる前に雑草を除草剤で徹底防除しましょう。茎数は5月までに決まってしまうので、収量を上げるためには、さとうきびの生育が盛んになる6月から9月に必要な水分を与えて原料茎長を伸ばす必要があります。

図 春植の植付けから収穫までの生長過程とさとうきびが必要とする水分量(蒸発散量)の変化



しかし、さとうきびが最も水を必要とする6月下旬から9月 (農業研究センター報告資料)までは降水量が少ない時期で、台風等の発生が少ない年は干ばつ被害で減収する場合があります。

沖縄本島中南部の旬別降水量の平年値(1981年～2010年)



30年間の平年値で見ても6月の梅雨明けから少雨傾向が続き、さとうきびの生長に必要な水が足りません! 雨が深い年もありますが、干ばつに備えかん水の準備をして、さとうきびの単収を上げましょう!

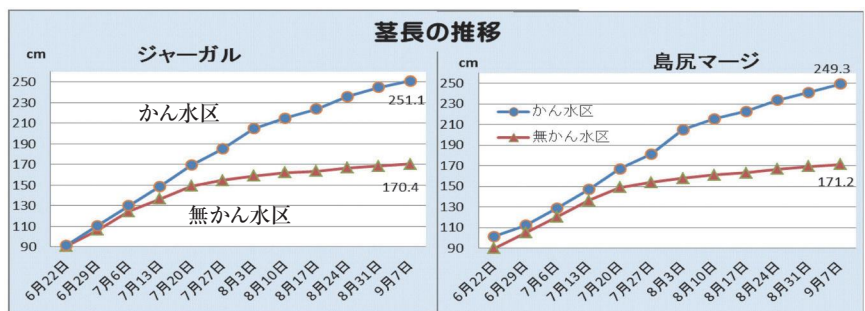
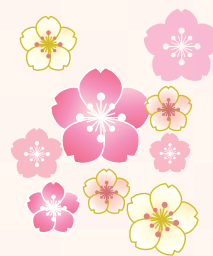


図 6月下旬からかん水した場合の茎長の伸び(H29 中部普及センター)

(農業技術班 伊志嶺 正人)



## 人事異動のお知らせ

4月に転入してきた新メンバーです。  
これからよろしくお願ひします♪



しまぶくろ りつこ  
島袋 律子(所長)

北部農林水産振興センターから異動してきました。中部は初めてですが、所長としても初めてで、どきどきワクワクの毎日です。中部の農業振興を共になんばっていきましょう。



みたぎ のりみち  
宮城 徳道(班長・野菜)

営農支援課より異動してきました。前職では野菜の担当でしたが、中部では農業技術班長となります。普及センターでの勤務は初めてですが、農業振興に頑張ります。



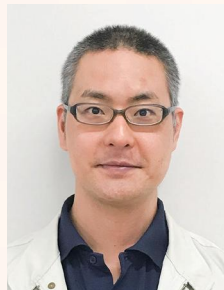
あらしろ たかし  
新城 孝始(主幹・担い手)

農業大学校より異動してきました。7年ぶりの中部復帰です。前回は野菜担当でしたが今回は担い手担当になりました。新規就農者の経営安定化に役立つよう頑張ります。



やら くみこ  
屋良 久美子(担い手)

南部農業改良普及センターより異動してきました。農産加工を担当していましたが、7年ぶり2回目の中部では担い手(指導農業士等)を担当します。笑顔で頑張ります。



のほら まさし  
野原 正司(花き)

初めまして！農政経済課より異動してきました。中部勤務も花き担当も初めてですが、農家の皆さんの顔と名前と畑の場所を早く覚えて、お役に立てるように頑張ります。



いしみね まさと  
伊志嶺 正人(工芸作物)

3月に営農支援課を卒業し、さとうきび担当として勤務します。さとうきび農家、糖業関係の皆さんの元気に役立つ普及活動を目指します。



かわかみ みつお  
川上 光男(経営)

北部農林水産振興センターより異動してきました。再任用職員として週3日勤務です。農業経営を担当し、農家所得の向上に向けた支援をしたいと思ひます。

**【退職・転勤】**( )は異動先等

- 玉城 聡 (園芸振興課)
- 神村 亜矢子 (流通・加工推進課)
- 仲眞 和枝 (病虫害防除技術センター)
- 玉城 和香奈 (中央卸売市場)
- 川之上 昭彦 (営農支援課)
- 長山 麻江 (南部農業改良普及センター)
- 松尾 安人 (中央卸売市場)
- 高江洲 義晃 (退職)
- 森 要 (退職)
- 仲里 須賀子 (退職)

♪お世話になりました♪